

第7章 その他機関の窓口紹介

(1) 中小企業基盤整備機構の相談窓口

経験豊富な専門家が
無料で何度でも相談に
お答えします！



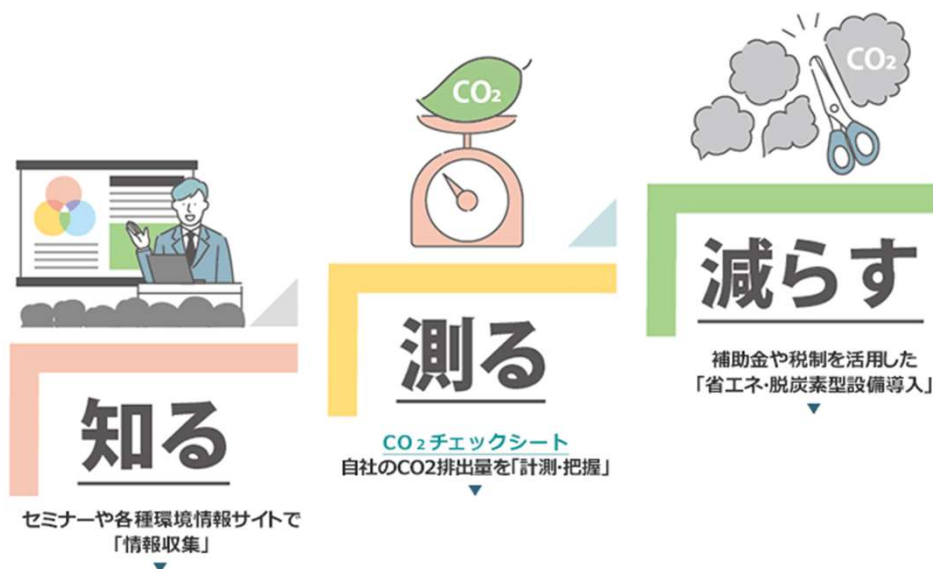
- ✓ どのようにカーボンニュートラルに取り組んだらよいかわからない。
- ✓ 再生可能エネルギーを導入したい。
- ✓ SBTやRE100（中小企業版）へ加入する方法やメリットを知りたい etc.

相談窓口の特徴

- 場所：対面もしくはオンライン（Microsoft teamsまたはzoom）
- 対象者：中小企業・小規模事業者
- 午前9時～午後5時（事前予約制）
- 費用：無料
- カーボンニュートラルに関する相談申込みページ
<https://service.smrj.go.jp/cas/customer/questions/c52fb071792641268ebf2d539966449b>

(2) 日本商工会議所のサイト

カーボンニュートラルに関する情報、チェックシート、削減対策等がまとまったサイトです。



掲載HP

- 日商エネルギー・環境ナビ <https://eco.jcci.or.jp/3step>

(3) チェックシートなど

①中小企業向けに作成した「カーボンニュートラル・チェックシート」

掲載、チェックシートダウンロードHP :

https://j-net21.smrj.go.jp/special/chusho_sdgs/carbonneutral/checksheet.html

1. 現状把握（認識・知識）

まず、自社のエネルギー使用量やCO2排出量といった現状を把握します。

2. 事前準備（行動・意識）

中小企業の先行事例を調べて参考にします。環境省「[中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブック](#)」（PDF方式）に取組事例が掲載されています。各種補助金や外部機関によるエネルギー診断を検討します。

3. 計画策定（計画・今後の方針）

中長期計画を策定し、再生可能エネルギーの導入など年度ごとの対策を検討します。

[「再エネ100宣言RE Action」](#)

No.	質問	確認	解説
現状把握 (認識・知識)	1 エネルギーの種類別 ^(注1) に毎月使用量を整理していますか ^(注2) (注) 電気/灯油/軽油/重油/ガス等の別	<input type="checkbox"/>	エネルギー使用量の把握には、電力会社等からの明細が有効です。月別推移、前年同期との比較などを可視化することにより改善点が見つかります。
	2 事業所のCO2の排出量(年間)を把握していますか	<input type="checkbox"/>	自らの事業所のCO2排出量を把握することがカーボンニュートラルへの出発点です。燃料等使用量からCO2排出量への換算が可能です。以下を参考にしてください。 CO2チェックシート（日本商工会議所）
	3 事業所の電気、燃料の使用量を用途 ^(注1) 別に把握していますか ^(注2) (注) 部門、工程、設備	<input type="checkbox"/>	多くの場合、電気や燃料の使用量を示す計量器は細かく設置されていません。そのため、用途別の使用量を求めるためには、計算による推計を行うか、可搬式計器による計測が必要です。そのようにして使用量を用途別に把握すれば、CO2発生量の多い用途を絞り込むことができます。
取り組み状況 (行動・意識)	4 省エネルギー対策の検討・外部診断を受診したことがありますか	<input type="checkbox"/>	外部診断を受診することによりCO2削減率の大きな改善点を見出せます。省エネルギーセンターおよび各地域の省エネ支援団体が省エネに関する診断を実施しています。 一般財団法人省エネルギーセンター 省エネお助け隊
	5 省エネルギー・カーボンニュートラルを目的とした設備投資に、補助金が活用できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	様々なカーボンニュートラルに関連する補助金制度があります。 一般社団法人環境共創イニシアチブ 経済産業省のカーボンニュートラルに向けた中小企業支援施策
	6 中小企業のカーボンニュートラルへの取組事例を知っていますか	<input type="checkbox"/>	以下の中小企業の取組事例が参考になります。 中小規模事業者のための 脱炭素経営ハンドブック ver.1.1

②日本商工会議所「CO2チェックシート」

掲載、チェックシートダウンロードHP :

<https://eco.jcci.or.jp/checksheet>

＼ こんな方におすすめ /

- ・環境対策に取り組みたい（取り組むべき）とは思うけれど、何から始めて良いかわからない。
- ・近年エネルギー価格が高騰しているが、実際、自社の電気料金はどれほど上昇しているか知りたい。
- ・省エネ設備を導入しようと検討しているが、そもそも設備導入にメリットがあるか不安がある。



- ・日本商工会議所が無料提供するツールで、自社のエネルギー使用量やCO2排出量を簡単に“見える化”できます。
- ・環境省の「[温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度](#)」における排出係数を利用してCO2排出量を算出できます。

(4) 宮城県内の相談窓口

① 県内商工会議所

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokokin/syo-01.html>

② 宮城県よろず支援拠点

<https://yorozu-miyagi.go.jp/>

③ 公益財団法人みやぎ産業振興機構

みやぎ自動車産業「ミカタ」プロジェクト

<https://www.joho-miyagi.or.jp/mikata-project>

(5) 脱炭素補助事業

カーボンニュートラル関連の補助事業

【補助事業の種類】

- ① エネルギー診断+計画策定
- ② 設備投資補助金
- ③ 再エネ導入関連
(コーポレートPPA等)

×

【実施団体】

- 市区町村
- 都道府県
- 国(経済産業省、環境省等)

カーボンニュートラルに関する補助事業は大きく3種類に分けられ、このうち補助事業は市区町村、都道府県、国が募集しています。自社に必要なかつ適切な補助事業を利用します。

① エネルギー診断+計画策定

企業・工場ごとにエネルギーを多く使用する設備や工程を調査し、対策を講じた場合のCO2削減効果を算定するなどカーボンニュートラル計画策定をサポートする事業です。計画や対策内容が未定の事業者におすすめです。

② 設備投資補助金

CO2排出量削減のための設備投資を対象とする補助金です。CO2削減の実施内容が決まっている事業者の役に立ちます。

③ 再エネ導入関連

太陽光発電などの再生可能エネルギー導入に係る補助事業です。再エネ導入を検討している事業者が利用します。